

# 恵みと真理のニュース



2013年8月の二次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



前回に続いて

姑の健康が悪化されうつ病もひどくなりました。5歳と3歳の子供をつれて姑と毎日病院に通わなければなりませんでした。姑はいたしたことでもないのに怒ったり、姑の便の掃除をする日も多くなりました。神様に祈つたらその苦労は楽しい心で担えるように恵みを与えてくださいました。不信の姑と旦那を哀れんでもっと心を使うように配慮して愛しました。

姑は状態が悪くて2005年春にクンポにある大学病院からもっと大きい大学病院に移しました。首の神経の拡張手術を受けるべきでしたが心臓が悪くてその代わり心臓に器具を入れる手術をしました。

どこかが手術の結果が良くなくて心臓に血がいっぱいになって一ヶ月生か死かの二筋道でした。私は病院に行き来する時切ない心で神様に祈りました。“神様、姑に一回の機会を与えてください。かわいそうな姑がイエス様を受け入れて天国に生きるように導いてください。助けてください。何ヶ月後、姑が退院をしましたが拡張手術を受けなくて体は病弱で私の介護は続けました。2006年夏にきりの姑から一人で面倒を見るのが大変だからアンサンに良い施設の療養院があるけど兄弟が共同負担で姑を送らせるのはどうか言いました。実は全ての生活が今までの姑の介護することに合わせていたので子供の面倒を見るのが出来なかったところにその話は嬉しくて感謝でした。

姑は今はクンポの療養院で暮らしています。体と心が楽になって安定するようになりました。教区長と聖徒がよく訪問して神様の愛を伝えてくださいます。神様



## [信仰コラム]

## 主(しゅ)の中(なか)での喜(よろこ)び

“あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。”(フィリピの信徒への手紙 4:4)

神(かみ)様(さま)は喜(よろこ)びを持(も)たせる資源(しげん)を豊富(ほうふ)にくださいました。その資源(しげん)を活用(かつよう)して適用(てきよう)して喜(よろこ)びを享受(きょうじゅ)することはわたしたちがしなければならないことです。体が健康(けんこう)して生活(せいかつ)が豊(ゆた)かだつも喜(よろこ)びがない人(ひと)がいればその反対(はんたい)の状況(じょうきょう)だが、喜(よろこ)びがいる人(ひと)がいます。喜(よろこ)んでくらしたほうが賢明(けんめい)で幸(あわ)せに生(い)きることであり、喜(よろこ)びの理由(りゆう)をたくさん持(も)っている人(ひと)が実(じつ)に裕福(ゆうふく)な人(ひと)です。

主(しゅ)の中(なか)で行(おこな)うことになる靈(れい)的(てき)な喜(よろこ)びの種類(しゅるい)を示(しめ)します。

第(だい)一(いち)、主(しゅ)の中(なか)で祈(いの)りする樂(たの)しみがあります。神(かみ)様(さま)に私(わたし)たちの都合(つごう)と事(こと)の次第(しだい)を申(もう)し上(あ)げたら神(かみ)様(さま)が聞(き)いてくれます。自分(じぶん)の都合(つごう)と事(じょう)を話(はな)したら聞(き)いてくれる対象(たいじょう)があることは本当(ほんとう)に幸(あわ)せなことです。聖徒らは主(しゅ)の中(なか)で祈(いの)りする樂(たの)しさを享受(きょうじゅ)することができます。2番(ばん)目(め)、聖徒(せいと)たちが集(あつ)まって礼拝(らいはい)する樂(たの)しみがあります。そして、教(きょう)会堂(かいどう)に集(あつ)まって礼拝(らいはい)する大(おお)きな樂(たの)しみがあります。各所(かくしょ)で生業(せいぎょう)に努(つと)めて様々(さまざま)な活動(かつどう)をしていた聖徒がイエスキリストの名前(なまえ)で一堂(いちどう)に集(あつ)まって礼拝(れいはい)あげたその喜(よろこ)びを世(よ)の中(なか)はわかりません。

第(だい)三(さん)に、神(かみ)様(さま)の仕事(しごと)に献身(けんしん)しながら、持(も)つようになる喜(よろこ)びがあります。時間(じかん)と才能(さいのう)と身(み)と物質(ぶっしつ)をして神(かみ)様(さま)の仕事(しごと)のために献身(けんしん)する喜(よ

## [証] 神様は心の傷をきれいに治してください、

## 礼拝し捧げる幸せを味わうように導いてくださいました。

の恵みに感謝し教会の方々の愛と祈りにも感謝をささげます。

そんなに大変な時間を過ごす間嘘のように私と旦那との関係が完全に回復されました。以前受けた心の傷も無くなりました。神様が過去の記憶と跡を少しも残さず私の家庭をきれいに癒してくださいました。これが神様の奇跡です。

私はまた恵みと真理の教会に通うようになったのも特別な恵みだと思います。以前通った教会が遠いところに移転して結局ドアを閉めて一時期礼拝を捧げられなかつた時、ある日私を始めて伝道をした執事から偶然に連絡が来てその方について恵みと真理教会に行きました。

最初の日から当会長の牧師の聖書中心の説教を聴いて大きい恵みを受けました。私の心と口と耳が開かれました。神様は御言葉を通して私に恵みの上に恵みを信仰の上に信仰を愛の上に愛をくださいます。嬉しいで喜びで感謝します。ハalleluya!

子供たちは私が教会に行かない間友達の教会に通っていました。そして、恵みと真理教会に導く私に“なぜ、母の教会に行かなければいけないの？私は私が行きたい教会に行く。”と言いました。続けて説得させてうちの教会の礼拝に参加してからは

“先生も良いし礼拝も良いから私ここ続けて通うよ。と言いました。

私の子供たちも恵みと心理の御言葉を学びながら信仰教育も受け恵みをくださる神様に感謝を捧げました。受けた才能で献身しながら神様に栄光を捧げる子供になるように当時小学校3年生の時上の子供を教会の管弦楽団に入団させました。最初は苦しがっていた子供に“大変でも祈りながら耐えるならば少しずつ能力の煉瓦をつめて行くと神様が導いてくださって実力が出

来、そうすれば神様に賛美で大きく用いれるようになります。お母さんも祈るよ。”励みました。

そしてアンヤン聖殿とアンサン聖殿で続けて開いたGNTC 幼少年オーケストラ演奏会は私に大感動的でした。二番目の子供もオカリナ贊助演奏をしました。二人の子供がお兄さんたちと良くあわせて大胆に演奏する姿を見ながら感激でした。子供を限りなく誇りに思い神様に栄光を捧げました。

私の上の子は6歳ごろ精神的にストレスを受けて対人忌避症がありました。治療をするときには村の子供達6人を知るようになりました。その子供達を伝道して教会に導くためバスに乗せて行くときに私の小さい頃通っていた教会のことが思い出しました。そのときに耳にたこが出来るようにきいたヨハネの福音書3章16節の御言葉が種になって今私が救いを得、主の中で豊かで幸せな人生を生きるようになったことを考えながら子供たちのため献身する事を決心しました。

そう思つたら、その後神様にこのようないい願いをどうわかったのか私に児童区域長の尊い職分をくださいました。

私の信仰が弱くて能力が足りないが、あまり学ばなくて言葉も下手ですが職分をくださった神様は知恵と能力と力もくださり何よりも子供の愛するイエスキリストの心を与えてくださることを信じ感謝で今日も大胆に献身しています。

良い神様と共にいるので私には足りないものが無いです。全てが神様の恵みであり神様に対する感謝を捧げるだけです。私の家族にこれからも神様がくださる恵みと主の前に立つその日を期待しながら今日も誠実に主のことに頑張りながら生きて行きます。ハalleluya!!

ります。ハバククの預言(よげん)者(しゃ)は “いちじくの木は花咲かず、ぶどうの木は実らず、オリーブの木の産はむなしくなり、田畠は食物を生ぜず、おりには羊が絶え、牛舎には牛がいなくなる。しかし、わたしは主によって楽しみ、わが救の神によって喜ぶ。主なる神はわたしの力であって、わたしの足を雌じかの足のようにし、わたしに高い所を歩ませられる。これを琴に合わせ、聖歌隊の指揮者によって歌わせる。”(ハバクク書)

3:17-19)と欠乏(けつぼう)の中(なか)での喜(よろこ)びを言(い)いました。使徒(しと)パウロは、“わたしらは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあづかる希望をもって喜んでいる。それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は鍛錬を生み出し、鍛錬は希望を生み出すことを、知っているからである。”(ローマ5:2-4)しました。

八(はち)番(ばん)目(め)、聖霊(せいれい)充满(じゅうまん)して持(も)つようになる喜(よろこ)びがあります。復活(ふっかつ)したイエスが昇天(しょうてん)した後(あと)弟子(でし)がイエスキリストの言葉(ことば)に追従(ついじゅう)してエルサレムに集(あつ)まって聖霊(せいれい)降臨(こうりん)を待(ま)って、祈祷(きとう)に専念(せんねん)しました。五旬節(ごじゅんせつ)の日(ひ)になると彼(かれ)らが集(あつ)まった所(ところ)に聖霊(せいれい)が臨(のぞ)みてみんな省令(しようれい)で充满(じゅうまん)することを受(うけました)。彼(かれ)らは大胆(だいたん)な福音(ふくいん)を伝(つた)えることになり、権能(けんのう)が従(したが)うようになりました。また、一(ひと)つはっきりした現象(げんじょう)は皆(みんな)喜(よろこ)びが充满(じゅうまん)することになったのです。

主(しゅ)の中(なか)にいる喜(よろこ)びの資源(しげん)は無尽(むじん)蔵(ぞう)です。皆(みんな)さんは、これらの資源(しげん)に信頼(しんらい)のボーリングを行(おこな)ってください。深(ふか)く穴(あな)を開(あ)けてそこからわき出(で)る原油(げんゆ)を引(ひ)き出(だ)してください。これを取(とり)出(だ)して使用(しよう)してください。上(うえ)に列挙(れっきよ)したすべての種類(しゅるい)の喜(よろこ)びが、皆(みんな)様(さま)の生活(せいかつ)にいつも充满(じゅうまん)することを願(ねが)っています。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム中」



恵みと真理教会 チヨヨンモク 牧師

今日は健康に対してよく見ようと思います。しかし聖書の言葉と無関係な話をしようとするのではないです。聖書は私たちの幸せのために多様で広範囲な分野を扱っています。その中に集中的に扱っていることが元気な生に関する。人は魂と肉身を持った存在です。だから誰でも魂と肉身が元気になるように願うのが当然之事です。しかし人は魂が死んで肉身が病苦に苦しみながら生きて行きます。このようになったことは神様のみ旨ではないです。聖書は人間がこのような状態に処するようになった理由を明らかに啓示しました。

人類の先祖アダムが神様の命令を逆らって犯罪者になったわけにこの世の中が呪いというあるようになったしサタンの支配を受けるようになったのです。かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。(ローマ人への手紙 8:21) 神様がこのような罪人たちを可愛想に思って魂をいかして肉身をなおそうと救世主を世の中に送りました。そして誰でもイエスキリストを信じれば彼の魂が新しい命を得るようになります。そして肉身は病治療するのを経験している途中死に至るが、将来復活して腐られることの奴隸になることですっかり解放を得るようになります。私たちの肉身が完全な状態に至る時はまだならなかったです。イエスキリストが再臨なさる日肉身の救いが完全に成すようになると聖書に啓示されました。

しかしその日を待つうちに私たちが元気な身で生きて行くように神様が多様な恵みを施してくださいました。さまざまな食物をくださって營養分をめいめいに取ることができるようにしました。あらゆる種類の物質に治療に有效な成分と機能を入れて置いたし人々に知恵をくださってその成分たちを搜し出すようにしてくださいました。そして各種医療器具を作るようにしてくださいました。人々が医術を発展させて行くことは神様が願う事です。治療する事は神様が授けられた恵みです。聖書には現代医学が近代に来て分かった人の身と心の相互作用と疾病的予防と治療に対する重要な知識たちがたくさん記録されています。消毒法と伝染病者の隔離収容についてのみならずお酒の弊害に対しても言及したし動物の血と油攝取を禁じています。このように聖書には魂がよくできる問題だけではなく凡事がよくできて健になる問題まで扱っています。だから疾病の予防と治癒に対して現代医学が言う知識といっしょに聖書が教訓する言葉に耳を傾けなければなりません。

寿命が増えながら老人性疾患の発病率が高くなっています。その中に痴ほうがあります。ところで驚きべきは痴ほうが年寄りたちにだけ発生する疾病ではないという事実です。老人性疾患で思った痴ほうが年寄りたちにだけ発生するのではなく 30-40 代を奇襲しています。主要原因はお酒によるアルコール性痴ほうと言います。それで普段痴ほう予防法を通じて若い時から絶えずに管理するのが必要です。痴ほうは脳機能の損傷によって認知能力が低下されて日常生活に相当な差し支えが招来された状態を言います。

## 痴ほうの予防

### まず、痴ほう症状がどうか調べます。

認知能力が低下されます。第一、記憶力が著しく落ちます。第二、視空間を把握する能力が著しく落ちます。第三、眼力が著しく落ちます。第四、計算能力が著しく落ちます。五番目、繰り返して同じ質問をします。六番目、言語機能が著しく落ちます。文章ではない単語の羅列をして質問を受ければ無茶な返事をします。他人の言葉を理解することができないです。また認知能力の低下だけではなく行動に変化が生じます。

第一、無関心になります。周辺仕事に対する関心が減ります。政治や社会に対する関心だけではなくすぐ側で起こる事や甚だしくは自分に起った事さえ関心がないです。

第二、感情起伏が甚だしくなってささいな事にも怒りをたくさん出します。

第三、妄想をするようになります。自分の品物をある人が盗んだと思う妄想をする場合が多いです。

第四、幻覚症状が生じて目の前に実際ない人や事物が見えるとか音が聞こえます。

五番目、ひどい憂鬱症状が生じます。

六番目、睡眠障害が生じます。

痴ほうは医学的でも精神健康医学、神経科、神経外科に属する非常に複雑な疾病の一つで発病すれば完治が難しいです。それで痴ほう初期症状が現われる場合すぐ治療に入って行った方が良いです。痴ほうは脳細胞破壊など脳損傷による記憶障害で日常生活はもちろん社会活動が不可能な位の精神的障害、性格障害、人格障害、身体的以上行動などが隣伴されるのに早期に見つけて積極的な治療を受けることが重要です。早期治療を受ければ約 10-15% 位は完治が可能だと思います。

### 次に、痴ほう予防のための守則を調べます。

第一、禁煙、禁酒しなければなりません。禁煙と禁酒は痴ほうを予防する時だけではなく健康のためにも実践しなければならない守則です。喫煙をすれば認知機能を低下させるようになります。聖書には“あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。”(コリント人への第一の手紙 6:19)と言いました。喫煙は神様の中に有毒ガスを入れる事に違いないです。飲酒をしばしばすれば脳にある記憶回路に損傷をかぶらせるようになりながら記憶力がおとるアルコール性痴ほうを誘発することができます。聖書に“酒に酔ってはいけない。それは乱行のもとである。むしろ御靈に満たされて。”(エペソ人への手紙、5:18)と言いました。“災いある者はだれか、憂いある者はだれか、争いをする者はだれか、わずらいある者はだれか、ゆえなく傷をうける者はだれか、赤い目をしている者はだれか。酒に夜をふかす者、行って、混ぜ合わせた酒を味わう者である。酒はあかく、さかずきの中にあわだち、なめらかにくだる、あなたはこれを見てはならない。これはついに、へびのようにかみ、まむしのように刺す。”(箴言 23:29~32) しました。

第二、肥満を調節して低脂肪食事をしなければなりません。

脂肪の過多攝取は血管に有害な作用をして血流に差し支えが招来になります。聖書には獣の肉で血と油をとり除いて食べるよう言い付けました。“あなたがたは脂肪と血とをいっさい食べてはならない。

これはあなたがたが、すべてその住む所で、代々守るべき永久の定めである』」。(レビ記 3:17) しました。

第三、絶えず運動をしなければなりません。絶えず運動すれば体重減量と成人病の予防に効果があります。規則的に運動すれば身の活動量を増加させるから痴ほう予防に効果的です。一日に素手体操を何回することも良い効果があります。昔の時代には働くことで十分な運動量を得ることができたから聖書には働くのを勧奨しながら仕事を通じる運動効果を得るようにしました。今日都会人の生活は概して運動量が不足です。だから絶えず運動をしなければなりません。

第四、ストレスを解消しなければなりません。ストレスをたくさん受ける人はストレスをより少なめに受けたるか受けない人々に比べて 5 年の期間の間痴ほうで発展する確率が 2 倍位高いという研究結果があります。冥想や散歩はストレスを解消する方法です。周辺人々と対話をたくさんすることもストレス解消に役に立つと言います。聖書にはストレス解消に一番卓越な方法を教訓しています。“いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることがあります。”(テサロニケ人への第一の手紙 5:16-18)。これはストレス解消方法であるのみならずストレス予防方法となります。

五番目、真のやりがいと意味を持つ事をしなければなりません。

暮すことなどがむなしくて仕事するのが無意味だと感じれば鬱病に陥るようになって鬱病は痴ほうの原因になります。“だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることないと、あなたがたは知っているからである。”(コリント人への第一の手紙 15:58) しました。人が行う事の中に一番価値あって甲斐がある事は福音を伝えて体になる教会を仕える事です。そのほかの仕事はこんな事をもっとよくするための手段にしなければなりません。

六番目、心を明るく持たなければなりません。不信、絶望、憎しみ、恨み、嫉むと妬みは身のすべての機能を搅乱させます。ホルモン分泌が非正常的になるようになります。“ゆだんすることなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。”(箴言 4:23) しました。心を明るくする考えは信仰 所望、愛の考えです。

七番目、頭脳と手をたくさん使わなければなりません。

頭脳と手をたくさん使う最上の方法は聖書を声を出して読むことと説教を傾聴するのです。聖書句節を暗誦して手の平を打ちながら讃美歌を歌うのです。だから礼拝をささげるのを樂しがる聖徒が得るようになる有益がまことに多いです。

聖徒 皆さんは医学的な知識といっしょに聖書の教えることを皆受け入れて行ってください。そして一生痴ほうと関係ない元気な生を楽しむようにお願いします。